

クオーツ マルチサウンドクロック

取扱説明書

この度はセイコークロック商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますよう、
お願い申し上げます。

なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

FSS-002Q

目次

安全のために	4
使用上のご注意	10
商標について	12
充電池を廃棄する	13
準備する	22
付属品を確認する	22
各部の名前と機能	23
専用アプリについて	29
接続する・充電する	33
電源を ON にする・OFF にする	35
時刻を設定する	36
音楽を聴く	39
Bluetooth で接続する	40

Bluetooth 機器の音楽を再生する	42
ラジオを聴く	44
本体でラジオを鳴らす	44
アプリでラジオを鳴らす	46
快眠アシストモードにする	49
本体でオリジナルサウンドを再生する	49
アプリでオリジナルサウンドを再生する	49
リラックスモードにする	50
本体でオリジナルサウンドを再生する	50
アプリでオリジナルサウンドを再生する	50
アラーム	51
本体でアラームを設定する	51
アプリでアラームを設定する	55
設定時刻になったら	59

その他の機能.....	61
スリープ機能.....	61
明るさ調節機能.....	63
BASS 調節機能.....	65
オートパワーオフ機能.....	67
本体を指定して接続する	69
付録.....	70
トラブルシューティング.....	70
Bluetooth 機器について.....	75
Bluetooth 無線技術について	77
主な仕様.....	82
保証とアフターサービス.....	85

安全のために

本製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、プラグとコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本製品が破損しているのに気づいたら、すぐに使用を中止してください。

警告表示の意味

取扱説明書および本製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・液漏れ・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を指示する記号



指示

行為を禁止する記号



禁止



ぬれ手禁止



分解禁止

危険



火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火により死亡や大けがの原因となります。



禁止

火の中に入れない



分解禁止

分解しない

故障や感電の原因となるので、内蔵の充電式電池を廃棄する以外の目的で分解しないでください。また、分解すると保証の対象外となります。



禁止

火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない

警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火により死亡や大けがの原因となります。



禁止

本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

火災や感電の危険をさけるために、水のかかる恐れがある場所では充電しないでください。また、本体の上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。



禁止

本体背面の端子に異物を入れない

端子などがショートして、誤動作や故障の原因となることがあります。



禁止

自然放熱を妨げない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または本棚や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。壁や家具から10cm以上離して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



注意

本体を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。



禁止

特定の状況下では、ワイヤレス機能を使用しない

本製品はワイヤレス機能を内蔵しています。以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合には、本製品のワイヤレス機能を使用しないようにしてください。

- 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは使用しない。電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。



注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。



禁止

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。



禁止

通電中の本体に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



禁止

本体を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。



指示

長時間使用しないときはマイクロ USB ケーブルを抜く

長時間使用しないときは、安全のためマイクロ USB ケーブルを本体から抜いてください。



指示

お手入れの際、マイクロ USB ケーブルを抜く

本体を充電しながらお手入れをすると、感電の原因となる場合があります。



禁止

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本体に使用すると、スイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。



指示

本製品は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

充電機についての安全上のご注意

本製品ではリチウムイオン充電機を使用しています。**液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



指示

充電するときは、パソコンまたは USB アダプターの USB 端子に、指定のマイクロ USB ケーブルを接続して使用する

他の機器による充電は、電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になることがあります。



指示

雷が鳴り出したら、充電を中止し、**マイクロ USB ケーブルを外す**
火災・感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でマイクロ USB ケーブルを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

USB アダプターについて

- ・市販の USB アダプターを使用する場合は、出力電流 500mA 以上で給電可能な USB アダプターをご使用ください。

温度上昇について

- ・ 本製品を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

取り扱いについて

- ・ スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- ・ 次のような場所には置かないでください。
 - ・ 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所
 - ・ 窓を閉め切った自動車内（特に夏季）
 - ・ ほこりの多い所、砂地の上
 - ・ 時計、キャッシュカードなどの近く（録音済みテープや時計、キャッ

シュカード、フロッピーディスクなどは、本体に近づけないでください。）

- ・ 激しい振動のある所
- ・ 平らな場所に設置してください。
- ・ 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- ・ 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、本体の近くに置かないでください。
- ・ 枠が汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

防水性能について

- ・本体の防水性能は IPX5 です。あらゆる方向からの噴流水による有害な影響を受けません。本体背面の防水カバーが完全に閉じられていないと防水性は確保されませんのでご注意ください。

その他のご注意

- ・疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、お客様相談室またはお買い上げ店にご相談ください。
- ・本製品を廃棄するまたは譲渡する際は、ユーザー情報などを消去するために初期化を実行して本製品をお買い上げ時の状態に戻してください（74 ページ）。

商標について

- ・ Bluetooth[®] ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc の所有であり、セイコークロック株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- ・ Google Play は、Google LLC の商標です。
- ・ Apple および App Store は米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標で

す。なお、本文中では®、™ マークは明記していません。

充電電池を廃棄する



Li-ionXX

本体を廃棄する際、内蔵充電電池のリチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、端子部分に絶縁テープなどを貼って、リサイクル協力店へお持ちください。リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人 JBRC ホームページ www.jbrc.com/ をご参照ください。

※ 分解すると保証の対象外となります。充電電池を廃棄する以外の目的で分解しないでください。

※ ケガのないよう十分に注意してください。分解方法がわからない場合は、お客様相談室にお問い合わせください。

本製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください

危険



禁止

本製品専用の充電電池のため、本製品以外に使用しない

取り出した充電電池は充電しないでください。

- 火への投入、加熱をしないでください。
- くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
- 金属などと一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しないでください。発熱・発火・破裂の原因になります。

警告



禁止

取り出した充電電池やねじなどは、お子様の手の届くところに置かない



指示

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼす原因になります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



指示

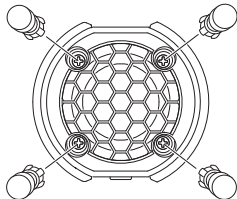
電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が目に入ったときは、失明の原因になります。

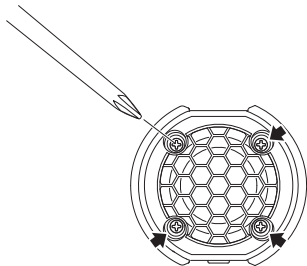
- 目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になります。
- きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

充電電池の取り外しかた

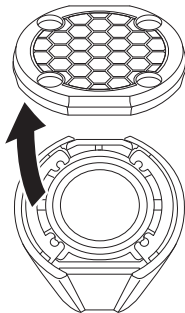
- 1 本体底面のゴムの足を外す
(4 個所)。



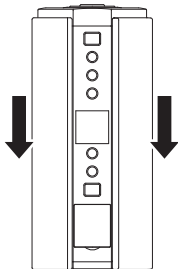
2 プラスドライバーでねじを外す
(4 個所)。



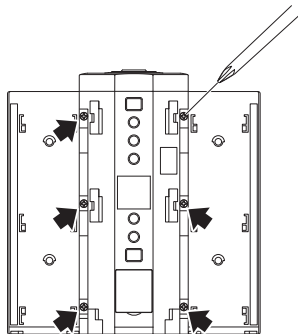
3 底面のスピーカーカバーを外す。



- 4** 両側のカバーを下側にスライドさせて外す。

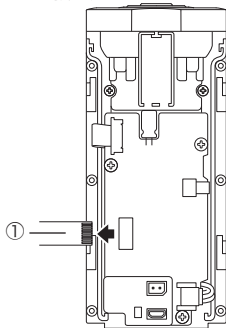


- 5** プラスドライバーでねじを外す (6 個所)。

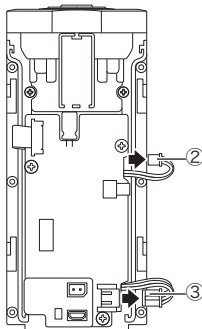


6 本体背面のカバーを開けて、①の
白色のケーブルを外す。

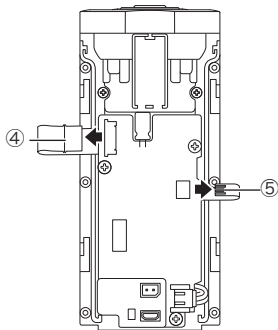
①の白色のケーブルを矢印の方向に引
き抜く。



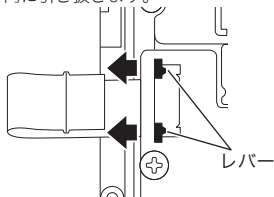
7 ②、③のコネクターを外す。



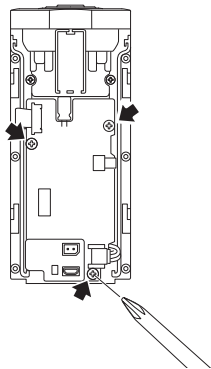
8 ④、⑤のケーブルを外す。



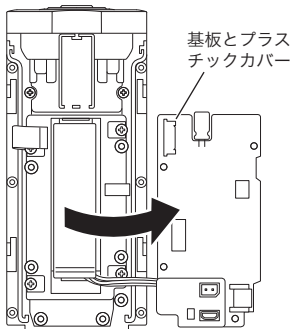
- ・ ④は、黒色のレバーを矢印の方向にスライドさせ、茶色のケーブルを矢印の方向に引き抜きます。
- ・ ⑤は、白色のケーブルを矢印の方向に引き抜きます。



9 プラスドライバーでねじを外す
(3 個所)。

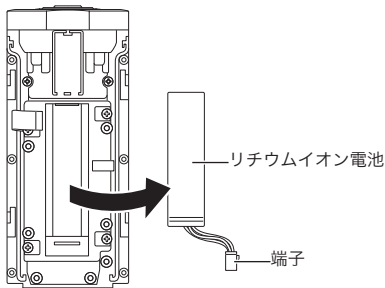


10 基板とプラスチックのカバーを外す。



11 充電電池を取り出す。

※ 不要になったリチウムイオン電池は、端子部分に絶縁テープなどを貼って、リサイクル協力店へお持ちください。



準備する

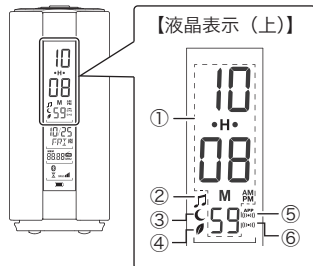
付属品を確認する

- ・取扱説明書（本書）1冊
- ・保証書1枚
- ・専用FMアンテナ
- ・マイクロUSBケーブル
- ・携帯用ポーチ

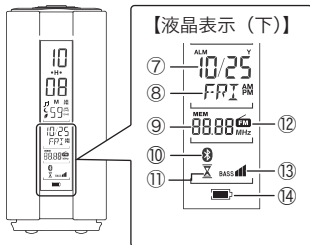
各部の名前と機能

本体について

■正面

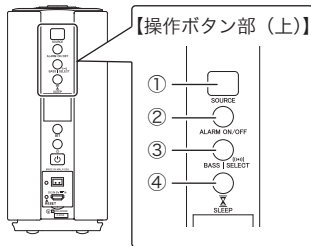


- ① 現在時刻
 - ・ 現在の時刻を表示します。
 - ・ AM / PM：12 時間表示のときに表示します。
- ② ミュージックモード (🎵) アイコン
 - ・ ミュージックモード中に表示されます。
- ③ 快眠アシストモード (🌙) アイコン
 - ・ 快眠アシストモード中に表示されます。
- ④ リラックスモード (🌿) アイコン
 - ・ リラックスモード中に表示されます。
- ⑤ APP アラーム (📱) マーク
 - ・ APP アラーム ON で表示されます。
- ⑥ 本体アラーム (🔔) マーク
 - ・ 本体アラーム ON で表示されます。

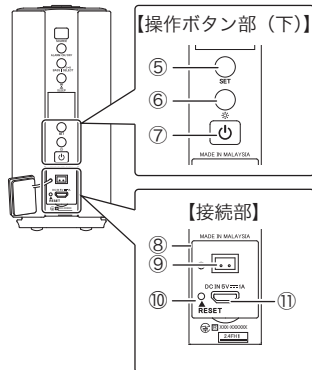


- ⑦ 月／日（アラーム時刻）
 - ・ 現在の日付を表示します。
 - ・ アラーム ON で、アラーム時刻を表示します。
- ⑧ 曜日
 - ・ 現在の曜日を表示します。
- ⑨ FM チャンネル（周波数）
 - ・ FM ラジオ局のチャンネル／周波数を表示します。
- ⑩ Bluetooth (Bluetooth icon) アイコン
 - ・ Bluetooth 接続の状態を表示します。
- ⑪ SLEEP (Sleep icon) アイコン
 - ・ SLEEP モード設定中に表示されます。
- ⑫ ラジオモード (FM icon) アイコン
 - ・ ラジオモード中に表示されます。
- ⑬ BASS (Bass icon) アイコン
 - ・ 低音の状態が表示されます。
- ⑭ 電池 (Battery icon) マーク
 - ・ 内蔵電池の残量を表示します。

■背面

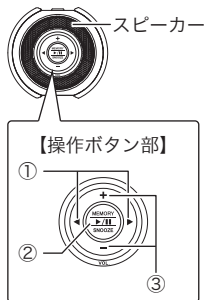


- ① SOURCE ボタン
 - ・ ボタンを押すごとにモードが切り替わります。(クロックモード→ミュージックモード→ラジオモード→快眠アシストモード→リラックスモード)
 - ・ ボタンを長押し(約4秒)すると、クロックモードに戻ります。
- ② ALARM ON / OFF ボタン
 - ・ 本体アラームをON / OFF します。
 - ・ アラーム時刻設定モードにします。
- ③ BASS / アラーム音 (||||●|||) SELECT ボタン
 - ・ 4段階で低音を切り替えます。
 - ・ ボタンを長押し(約4秒)すると、アラーム音を選択できます。
- ④ SLEEP (⌂) ボタン
 - ・ スリープ機能を設定します。
 - ・ スリープ時間を選択します。



- ⑤ SET ボタン
 - ・ 日時を設定する際に使用します。
 - ・ 時刻設定中に項目を次に進めます。
- ⑥ 明るさ調節 (☀) ボタン
 - ・ 液晶表示の明るさを調節します。
- ⑦ 電源 (⏻) ボタン
 - ・ 本体の電源を ON / OFF します。
- ⑧ 防水カバー
 - ・ 端子に接続するときを開きます。
- ⑨ FM アンテナ端子
 - ・ FM アンテナを接続します。
- ⑩ RESET ボタン
- ⑪ DC IN 5V 端子
 - ・ マイクロ USB ケーブルを接続します。

■上面



① ◀/▶ボタン

- ・ 時刻またはアラーム時刻を設定します。ボタンを長押し（約2秒）すると、時刻の送りスピードが変化します（クロックモードのみ）。
- ・ 音楽の再生中に◀ボタンを押すと、曲の先頭または前の曲から再生します。ボタンを長押し（約2秒）すると、曲が早戻りします。▶ボタンを押すと、次の曲から再生します。ボタンを長押し（約2秒）すると、曲の送りスピードが変化します（ミュージックモードのみ）。
- ・ ラジオの再生中に◀ボタンまたは▶ボタンを押すと、チューニングします。ボタンを長押し（約2秒）すると、自動サーチします（ラジオモードのみ）。
- ・ FM ラジオ局を登録したり、選択したりします（ラジオモードのみ）。

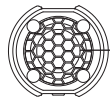
② MEMORY / 再生 (▶) / 一時停止 (||) / SNOOZE ボタン

- ・ 音楽を再生したり、一時停止したりします (ミュージックモードのみ)。
- ・ FM ラジオ局を登録したり、登録した FM ラジオ局を呼び出したりします (ラジオモードのみ)。
- ・ スヌーズ機能を設定します。

③ VOLUME + / - ボタン

- ・ 音量を調節します。ボタンを長押し (約 2 秒) すると、音量の送りスピードが変化します。

■底面



パッシブラジエーター

専用アプリについて

お使いのスマートフォンに専用アプリをインストールすることで、リモコンなどとして使用できます。

※ アプリの仕様および画面のデザインは予告なく変更になる場合があります。

ヒント

同じモデルを複数台お持ちの場合、アプリで操作したい本体を指定するときは、P.69「本体を指定して接続する」をご参照ください。

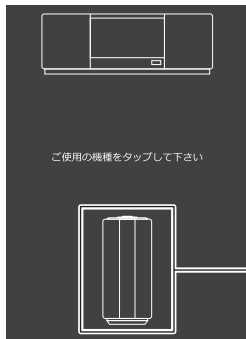
インストールと初期設定

- 1 スマートフォンで Google Play または App Store にアクセスする。
- 2 「ClockSyncApp」をキーワード検索して、お使いのスマートフォンにインストールする。

3 スマートフォンで ClockSyncApp を起動する。

あらかじめスマートフォンの Bluetooth 機能を ON にしてください。

4 ご使用の機種をタップする。



※ スマートフォンの機種によっては、位置情報へのアクセス許可を求める表示が出る場合があります。位置情報へのアクセスを許可するとアプリをご使用いただけます。

アプリの名前と機能



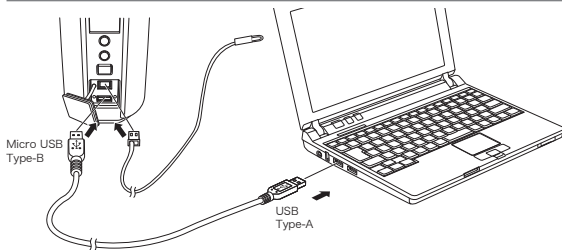
- ① 現在時刻
 - ・ 現在のスマートフォンでの日付と時刻を表示します。
- ② クロックモードボタン
 - ・ 時計と日付を表示します。
- ③ ミュージックモードボタン
 - ・ スマートフォンの音楽アプリが起動します。
- ④ ラジオモードボタン
 - ・ FM ラジオを鳴らします。
- ⑤ 快眠アシストモードボタン
 - ・ 快眠サウンドを鳴らします。
- ⑥ リラックスモードボタン
 - ・ リラックスサウンドを鳴らします。
- ⑦ アラーム設定ボタン
 - ・ アラームを設定します。

- ⑧ 音量調節ボタン
 - ・ 音量を調節します。
- ⑨ SLEEP 設定ボタン
 - ・ スリープ時間を設定します。
- ⑩ 時刻同期ボタン
 - ・ スマートフォンと本体を時刻同期させます。
- ⑪ 設定ボタン
 - ・ 本体の設定を行います。

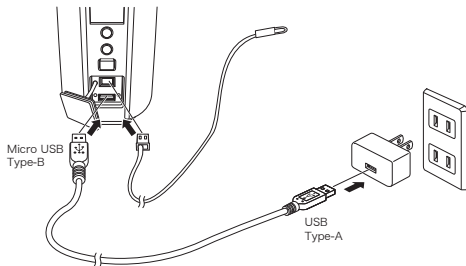
接続する・充電する

防水カバーを開けてから本体を電源に接続し、充電します。また、FM アンテナを接続します。

パソコンから充電する場合



コンセントから充電する場合



注意

水のかかる恐れがある場所では充電しないでください。
市販の USB アダプターを使用する場合は、出力電流 500mA 以上で給電可能なアダプターをご使用ください。

※ 充電が完了してマイクロ USB ケーブルを外したときは、防水カバーをしっかりとはめてください。防水カバーが完全に閉じられていないと防水性が確保されませんのでご注意ください。

電源を ON にする・OFF にする

本体背面の電源ボタンを長押しして電源を ON にしてください。また、再度長押しすると電源が OFF になります。

※ 本製品は、マイクロ USB ケーブルを接続し充電している状態、またはマイクロ USB ケーブルを外した状態のどちらでもご使用いただけます。

時刻を設定する

本体で設定する

本体背面の SET ボタンと本体上面の◀▶ボタンで設定します。

1 「年」を合わせる。

SET ボタンを長押しします（約 2 秒）。

◀▶ボタンを押して、年を合わせてください。



2 「月/日」を合わせる。

SET ボタンを押します。

◀▶ボタンを押して、日付を合わせてください。



3 「時刻」を合わせる。

SET ボタンを押します。

◀▶ ボタンを押して、時刻を合わせてください。



4 「12 / 24 時間制」を選択する。

SET ボタンを押します。

◀▶ ボタンを押して、12 時間制または 24 時間制の表示を選択してください。



5 SET ボタンを押して、時刻設定を終了する。

アプリで設定する

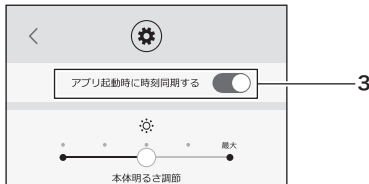
1 時刻同期ボタンをタップする。

「時刻同期成功」と表示され、本体の時刻が設定されます。
時刻同期に失敗した場合、再度時刻同期ボタンをタップしてください。

■アプリ起動時に自動的に時刻同期するには

2 アプリの設定ボタンをタップする。

3 「アプリ起動時に時刻同期する」を ON にする。



音楽を聴く

本体をスマートフォンなどの Bluetooth 機器とワイヤレスで接続し、音楽を再生します。

ヒント

- ・ 本体と Bluetooth 機器を 10m 以上離さないでください。
- ・ Bluetooth 機器は 3 台まで接続できます。ただし、音楽を再生できるのは 1 台のみです。4 台目の Bluetooth 機器を接続すると、1 台目の Bluetooth 機器との接続は解除されます。
- ・ Bluetooth 機器では接続する機器同士をあらかじめ登録しておく必要があります。この登録を「ペアリング」と呼びます。
一度ペアリングすると、以降は自動で接続され、再度ペアリングする必要はありません。
ただし、以下の場合は再度ペアリングしてください。
 - 本体の初期化や修理などでペアリング情報が消えた場合
 - 接続相手の機器のペアリング情報が消えた場合

Bluetooth で接続する

Bluetooth 機器の音楽を本体で再生できるようにペアリングします。

- 1 本体背面の SOURCE ボタンを繰り返し押して、ミュージックモードにする。**
液晶のミュージックモードアイコンが表示されるまで、SOURCE ボタンを押します。

- 2 Bluetooth 機器でペアリング操作を行い、本体を検索する。**

Bluetooth 機器の画面に「SS201 SEIKO」と表示されます。

表示されない場合は手順 1 からやり直してください。

※「SS201 SEIKO」の表示は、お使いの機器によって変わります。本体背面に表示されている製品番号 (MODEL NO.) をご確認ください。ここでは例として「SS201 SEIKO」と表記します。

- 3 Bluetooth 機器で「SS201 SEIKO」を選択する。**

液晶の Bluetooth アイコンが点灯し、本体と Bluetooth 機器が接続されます。

パスコードなどを要求された場合は、「0000」と入力してください。

ヒント

- ・ 接続を解除するときは、液晶の Bluetooth アイコンが点滅するまで本体背面の SLEEP ボタンを長押しします（約 4 秒）。
- ・ Bluetooth 機器の操作については、Bluetooth 機器の取扱説明書を参照してください。
- ・ ペ어링操作は本体と Bluetooth 機器を 1m 以内に置いて行ってください。
- ・ 本体が複数台設置された環境でペ어링操作を行うと、Bluetooth 機器の画面に「SS201」などが複数表示されます。いずれかが接続され、本体のうちのどれかを特定して接続することはできません。

Bluetooth 機器の音楽を再生する

本体で操作する

- 1 本体背面の SOURCE ボタンを繰り返し押して、ミュージックモードにする。**
液晶のミュージックモードアイコンが表示されるまで、SOURCE ボタンを押します。
- 2 接続した Bluetooth 機器の音楽を再生する。**
本体から Bluetooth 機器の音楽が再生されます。
再生中は本体上面のボタンで選曲や音量調節などを操作できます。

アプリで音楽を再生する

- 1 アプリのミュージックモードボタンをタップする。**
本体がミュージックモードに切り替わり、スマートフォンの音楽アプリが起動します。
- 2 音楽アプリで再生する。**
本体からスマートフォンのアプリの音楽が再生されます。

アプリで音量を調節する

1 アプリの音量調節ボタンをタップする。

音量バーが表示され、本体の音量を調節できます。

※ この操作では、スマートフォンの音量は変更されません。

※ 音量を調節すると時刻表示に戻るまで、他のボタンは操作できません。

ラジオを聴く

※ ラジオを鳴らすには FM アンテナを接続する必要があります。

※ FM アンテナを接続している状態では防水カバーを閉じられないため、防水性は確保できません。水のかかる恐れのあるところでは使用しないでください。

本体でラジオを鳴らす

FM ラジオを鳴らします。

1 本体背面の SOURCE ボタンを繰り返し押して、ラジオモードにする。

液晶のラジオモードアイコンが表示されるまで、SOURCE ボタンを押します。

2 自動サーチで選局する。

本体上面の◀▶ボタンを長押しすると自動サーチが始まり、FM ラジオ局が見つかりとサーチが停止します。自動サーチを途中で中止する場合は、再度◀▶ボタンを押します。

- ・ 再生中は本体上面の VOLUME + / - ボタンで音量を調節できます。音量を調節すると時刻表示に戻るまで、他のボタンは操作できません。
- ・ ラジオを止めるには、SOURCE ボタンを長押しします（約 4 秒）。

FM ラジオ局を登録する

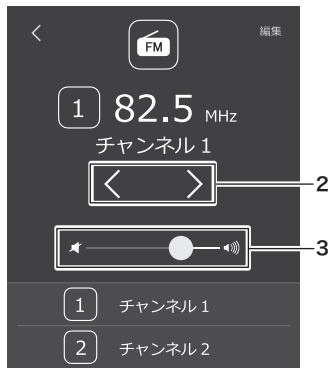
お気に入りの FM ラジオ局を最大 5 局登録できます。

- 1** 登録したい FM ラジオ局を受信する。
- 2** 本体上面の MEMORY ボタンを長押しする（約 2 秒）。
登録モードになります。
- 3** 7 秒以内に本体上面の◀▶ボタンを押して、登録するチャンネル番号を選択する。
- 4** 7 秒以内に MEMORY ボタンを押す。
選択したチャンネルに FM ラジオ局が登録されます。
続けて登録する場合は、手順 1～4 を繰り返してください。

登録した FM ラジオ局を呼び出す

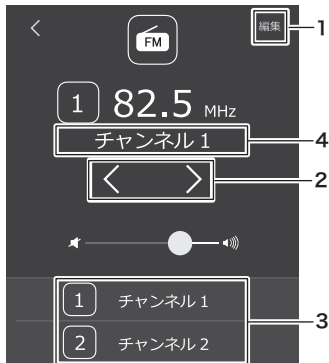
- 1** 本体上面の MEMORY ボタンを押し、本体上面の◀▶ボタンを押してチャンネルを選択する。

アプリでラジオを鳴らす



- 1 アプリのラジオモードボタンをタップする。
- 2 選局ボタン「< >」をタップして選局する。
- 3 音量調節バーで音量を調節する。

FM ラジオ局を登録する



お気に入りのFM ラジオ局を最大5局登録できます。

登録したチャンネルはラジオモードトップ画面にリスト表示され、ワンタッチで呼び出すことができます。

チャンネルにはそれぞれ名前をつけることができます。

- 1** ラジオモードトップ画面の「編集」をタップする。
- 2** 登録したいFM ラジオ局を受信する。
- 3** 登録したいチャンネルをタップする。

4 「テキスト」をタップし、名前を入力する。(任意)

※ 文字数には制限があります。

(漢字・かな：約 6 文字、アルファベット・数字・記号：約 20 文字)

5 「保存」をタップして設定を本体に送る。

登録が成功すると本体から設定完了音が流れます。

続けて登録する場合は、手順 2 ～ 5 を繰り返してください。

6 編集が完了したら、「完了」をタップする。

登録した FM ラジオ局を解除する

登録した FM ラジオ局を解除するには、チャンネルリストをスワイプしてから「削除」をタップするか、編集画面で「⊖」をタップしてから、「削除」をタップしてください。

FM ラジオ局の登録チャンネルは本体とアプリとで共通です。たとえば、本体で登録したチャンネルをアプリ上で解除すると、本体からも解除されます。

快眠アシストモードにする

快眠アシストモードは、心地よい眠りへと導くオリジナルサウンドを再生するモードです。

本体でオリジナルサウンドを再生する

- 1 本体背面の SOURCE ボタンを繰り返し押して、快眠アシストモードにする。
液晶の快眠アシストモードアイコンが表示されるまで、SOURCE ボタンを押します。
サウンドを止めるには、SOURCE ボタンを長押しします（約 4 秒）。
 - ・ 再生中は本体上面の VOLUME + / - ボタンで音量を調節できます。音量を調節すると時刻表示に戻るまで、他のボタンは操作できません。

アプリでオリジナルサウンドを再生する

- 1 アプリの快眠アシストモードボタンをタップする。
- 2 アプリの音量調節ボタンをタップして音量を調節する。

リラックスモードにする

リラックスモードは、癒しの空間を演出するオリジナルサウンドを再生するモードです。

本体でオリジナルサウンドを再生する

- 1 本体背面の SOURCE ボタンを繰り返し押して、リラックスモードにする。
液晶のリラックスモードアイコンが表示されるまで、SOURCE ボタンを押します。
サウンドを止めるには、SOURCE ボタンを長押しします（約 4 秒）。
 - ・ 再生中は本体上面の VOLUME + / - ボタンで音量を調節できます。音量を調節すると時刻表示に戻るまで、他のボタンは操作できません。

アプリでオリジナルサウンドを再生する

- 1 アプリのリラックスモードボタンをタップする。
- 2 アプリの音量調節ボタンをタップして音量を調節する。

アラーム

本体でアラームを設定する

本体でアラームを設定する場合、アラームは1つのみ設定できます。

アラーム時刻を設定する

1 本体背面の ALARM ON / OFF ボタンを押す。



液晶でアラーム時刻が約5秒間点滅し、アラームの時刻合わせの状態になります。

2 本体上面の◀▶ボタンを押して、アラーム時刻を合わせる。

- ・アラーム時刻合わせの状態でも◀▶ボタンを押し続けると早送りします。
- ・約5秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定します。

3 ALARM ON / OFF ボタンを長押しする（約2秒）。

- ・液晶の本体アラームマークが点灯します。

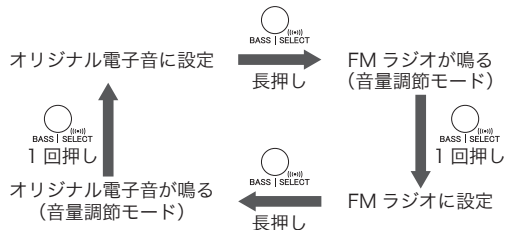
- ・「ALM」とアラーム時刻が表示され、アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。アラームの止め方は P.59「設定時刻になったら」をご参照ください。

アラーム音を設定する

本体でアラームを設定する場合、アラーム音はオリジナル電子音、FM ラジオのどちらかを選択できます。

- 1 本体背面の SOURCE ボタンを長押しして、クロックモードにする。**
液晶の各モードアイコンが消えるまで、SOURCE ボタンを長押しします（約 4 秒）。
- 2 本体背面のアラーム音 SELECT ボタンを長押しする（約 2 秒）。**
アラーム音が流れます。
- 3 アラーム音再生中に本体上面の VOLUME + / - ボタンを押して、アラーム音量を設定する。**
- 4 アラーム音 SELECT ボタンを押す。**
アラーム音が止まります。最後に流れた音のアラーム音として設定されます。

手順2～4を繰り返してアラーム音を選択します。



注意

- ・ バッテリー残量が少なくなるとアラームが機能しない場合があります。マイクロ USB ケーブルを接続してご使用ください。
また、オートパワーオフを設定し、アラーム時刻の前にオートパワーオフが作動した場合、電源が OFF になるためアラームは鳴りません。オートパワーオフに関しては P.67「オートパワーオフ機能」をご参照ください。
- ・ 本体でアラームを設定し本体アラームが ON になると、アプリで設定したアラームは鳴りません。
アプリで設定したアラームを鳴らしたい場合は P.55「アプリでアラームを設定する」をご参照ください。

アプリでアラームを設定する

アプリでアラームを設定する場合、最大7つまで設定できます。

新たにアラームを設定する



- 1 アプリのアラーム設定ボタンをタップして、アラーム設定画面を表示する。

アラーム設定画面に「アラーム使用上の注意」が表示されます。

「今後このメッセージを表示しない」にチェックを入れて「OK」をタップすると、以降このメッセージは表示されなくなります。

- 2 + をタップしてアラームの登録画面を表示する。

※ 本体アラームが ON になっていると、APP アラームは登録・編集できません。アプリで本体アラームを OFF にしてください。

※ クロックモード以外では、APP アラームの登録・編集はできません。クロックモードにしてください。

3 ①アラーム時刻、②アラーム音およびアラーム音量、③繰り返し、④スヌーズを設定する。

- ① 時・分をスライドしてアラーム時刻を設定します。
- ② アプリでアラームを設定する場合、アラーム音はオリジナルアラーム音 5 種類とチャンネル登録した FM ラジオ局のいずれかを選択できます。
鳴らしたいアラーム音をタップすると本体からアラーム音が流れます。
(FM ラジオ局の登録方法は P.45「FM ラジオ局を登録する」をご参照ください。)
- ③ 繰り返しを「する」に設定すると、毎週指定した曜日にアラームが鳴ります。
- ④ SNOOZE を ON にすると、アラームが鳴ったときに本体上面の SNOOZE ボタンを押すと約 5 分後に再びアラームが鳴ります。

4 各項目を設定したら、「保存」をタップする。

- ・ 本体に設定が送られ、同期が成功すると本体から設定完了音が流れます。
- ・ 液晶に APP アラームマークが点灯します。
- ・ 「ALM」とアラーム時刻が表示され、アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。
- ・ 「キャンセル」をタップすると、設定は保存されません。

注意

バッテリー残量が少なくなるとアラームが機能しない場合があります。マイクロ USB ケーブルを接続してご使用ください。

また、オートパワーオフを設定し、アラーム時刻の前にオートパワーオフが作動した場合、電源が OFF になるためアラームは鳴りません。オートパワーオフに関しては P.67 「オートパワーオフ機能」をご参照ください。

設定したアラームを編集する

- 1 アプリのアラーム設定ボタンをタップして、アラーム設定画面を表示する。
- 2 表示された画面の「編集」をタップする。
- 3 編集したいアラームの＞ボタンをタップする。
アラームの設定画面が表示されます。編集したい項目を編集してください。
- 4 編集したら、「保存」をタップする。
本体に設定が送られ、同期が成功すると本体から設定完了音が流れます。

■設定したアラームの ON / OFF を設定する

各アラームの右側の切替ボタンをタップすると、アラームの ON / OFF を切り替えられます。切替ボタンをタップするたびに本体に設定が送られ、同期が成功すると本体から設定完了音が流れます。

■設定したアラームを削除する

アラーム設定画面で各アラームをスワイプしてから「削除」をタップするか、「編集」をタップしてから「⊖」をタップし、「削除」をタップしてください。

※ クロックモード以外では、APP アラームの登録・編集はできません。クロックモードにしてください。

ヒント

アプリでアラームを設定中、無操作で5分経過すると自動的にメイン画面に戻ります。
この場合、設定途中の項目は保存されません。

設定時刻になったら

設定したアラーム音・音量でアラームが鳴ります。アラームを止めるには3通りの方法があります。

アラームを完全に止める

1 本体背面の ALARM ON / OFF ボタンを長押しする（約2秒）。

液晶の本体アラームマークまたは APP アラームマークが消えます。

APP アラームを複数設定している場合、APP アラームマークは点灯したまま、次に鳴るアラーム時刻を表示します。

約5分後に再度アラームを鳴らす（スヌーズ機能）

1 本体上面の SNOOZE ボタンを押す。

- ・ アラームが止まり、約5分後に再び鳴り出します。
- ・ スヌーズ中は本体アラームマークまたは APP アラームマークが点滅します。

オートストップ機能

アラームが鳴り始めてから約 5 分後に、アラームは自動的に止まります。
その後の動作は次の通りです。

<本体アラーム>

アラームは ON のままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

< APP アラーム >

繰り返し設定: あり

アラームは ON のままとなり、次に設定した曜日にアラームが鳴ります。

繰り返し設定: なし

アラームは自動的に OFF になります。

ヒント

FM ラジオをアラーム音に設定し、FM ラジオ再生中にアラーム時刻になった場合は、設定したアラーム音の鳴り始めに「ピッピッピッ」と電子音が鳴ります。また、アラームが鳴っている間、およびスヌーズ中は本体背面の SOURCE ボタンは操作できません。

その他の機能

スリープ機能

ミュージックモード、ラジオモード、快眠アシストモード、リラックスモードをご使用の際、自動的にクロックモードに戻る時間を設定できます。

本体で設定する

1 本体背面の SLEEP ボタンを押す。

SLEEP ボタンを押すたびに、以下の順でスリープ時間を設定できます。



※ 時刻表示に戻るまで、他のボタンは操作できません。

アプリで設定する

- 1 アプリの SLEEP 設定ボタンをタップする。
- 2 任意のスリープ時間を設定する。(設定可能範囲：1 分～2 時間)
- 3 開始ボタンをタップする。

スリープが設定されます。

※ スリープ動作中にキャンセルをタップすると、スリープ機能が解除されます。

注意

スリープ時間よりも短い時間でオートパワーオフを設定している場合、スリープの設定時間よりも前に電源が OFF になります。

マイクロ USB ケーブルを接続してご使用いただくか、オートパワーオフを無効にしてください。

オートパワーオフに関しては P.67「オートパワーオフ機能」をご参照ください。

明るさ調節機能

液晶表示の明るさを 5 段階で調節できます。

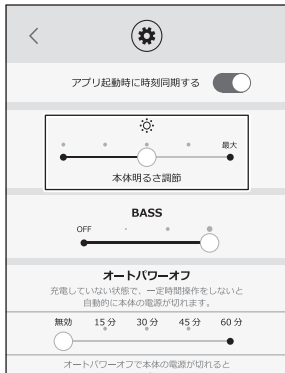
本体で設定する

1 本体背面の明るさ調節ボタンを押す。

明るさ調節ボタンを押すたびに、以下の順で液晶表示の明るさを設定できます。



アプリで設定する



- 1 アプリの設定ボタンをタップする。
- 2 「本体明るさ調節」のバーをスライドして、液晶表示の明るさを切り替える。
※ アプリのバーを操作した時点で、液晶表示の明るさが切り替わります。

BASS 調節機能

低音を強調する BASS を 4 段階で調節できます。

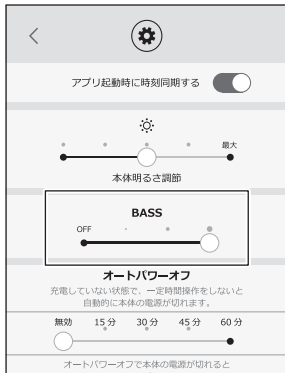
本体で設定する

1 本体背面の BASS ボタンを押す。

BASS ボタンを押すたびに、以下の順で BASS を設定できます。



アプリで設定する



- 1 アプリの設定ボタンをタップする。
- 2 「BASS」のバーをスライドして、本体のBASSを切り替える。
※ アプリのバーを操作した時点で、液晶のBASSアイコンが切り替わります。

オートパワーオフ機能



充電をしていない状態で一定時間操作をしないと、自動的に電源が OFF になります。
(音楽やラジオを流していても自動で電源が OFF になります。)

オートパワーオフ機能はアプリからのみ設定できます。

- 1 アプリの設定ボタンをタップする。
- 2 「オートパワーオフ」のバーをスライドして、時間を設定する。
(設定可能時間：無効(オートパワーオフしない) / 15分 / 30分 / 45分 / 60分)



- 3** 設定画面左上の< (戻る) をタップする。
アプリのホーム画面に戻り、本体に設定が送られます。同期が成功すると本体から設定完了音が流れます。

- ・ オートパワーオフを設定すると「オートパワーオフ使用上の注意」が表示されます。
「今後このメッセージを表示しない」にチェックを入れて「OK」をタップすると、以降このメッセージは表示されなくなります。

注意

オートパワーオフを設定している場合、電源が OFF になるとアラームは鳴りません。

本体を指定して接続する

同じモデルを複数台お持ちの場合、接続したい本体を指定して接続できます。



- 1 本体背面の SOURCE ボタンを長押しして、クロックモードにする。**
液晶の各モードアイコンが消えるまで、SOURCE ボタンを長押しします（約 4 秒）。
- 2 アプリの「本体を指定して接続する」をタップし、本体背面の SLEEP ボタンを長押しして接続する。**
アプリで「認識が完了しました」と表示されるまで長押ししてください。

付録

トラブルシューティング

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。いずれの処置方法を試しても正常に動作しない場合は、P.74「誤動作が起こったときは」および P.74「工場出荷状態に初期化する」の対処を行ってください。

症状	処置方法
電源が入らない	・ バッテリー残量がなくなっている可能性があります。マイクロ USB ケーブルを接続して充電してください。
正しい時刻が表示されない	・ アプリで時刻同期させる、または手動で時刻合わせを行ってください。
ボタンを押しても応答しない	・ 本体の電源を入れ直してください。

症状	処置方法
電源が切れる	・ オートパワーオフ機能を有効にしていると、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。機能を無効にするにはアプリで設定を変更してください。 ・ バッテリー残量がなくなっている可能性があります。マイクロ USB ケーブルを接続して充電してください。
音が出ない、聞こえない	・ 本体および Bluetooth 機器の電源が入っていることを確認してください。 ・ 本体と Bluetooth 機器がペアリングされていることを確認してください。 ・ 本体および Bluetooth 機器の音量を適切な大きさに調節してください。 ・ 本体と Bluetooth 機器は 10m 以内でご使用ください。間に壁などの障害物があると、通信距離は短くなります。
雑音が入る (Bluetooth)	・ 強い電磁波を発生する機器から本体を離してご使用ください。 ・ 本体と Bluetooth 機器は 10m 以内でご使用ください。間に壁などの障害物があると、通信距離は短くなります。

症状	処置方法
雑音が入る（ラジオ）	・ テレビやパソコンなど電波ノイズを発生させるものから離してご使用ください。 ・ FM アンテナが正しく接続されていることを確認してください。
ペアリングができない 接続できなくなった	・ 本体の Bluetooth アイコンが点滅し、検出可能な状態（ミュージックモード）であることを確認してください。 ・ Bluetooth 機器の Bluetooth 機能が有効になっていることを確認してください。 ・ 別の Bluetooth 機器に接続されている可能性があります。その機器の接続を一旦解除してから、ペアリングを行ってください。 ・ ペアリング済みの機器が接続できなくなった場合は、双方のペアリングを一旦解除してから、再度ペアリングを行ってください。 ・ 強い電磁波を発生する機器から本体を離してご使用ください。 ・ 本体と Bluetooth 機器を近づけてください。

症状	処置方法
アラームが機能しない	・ バッテリー残量が少なくなると、アラームが機能しない場合があります。マイクロ USB ケーブルを接続してご使用ください。 ・ オートパワーオフ機能により電源がOFFになるとアラームが鳴りません。オートパワーオフを解除してください。
アプリを操作しても本体が応答しない	・ 強い電磁波を発生する機器から本体を離してご使用ください。 ・ 本体と Bluetooth 機器は 10m 以内でご使用ください。間に壁などの障害物があると、通信距離は短くなります。 ・ アプリが本体を正しく認識していない可能性があります。アプリで「本体を指定して接続する」をお試しください。

誤動作が起こったときは

誤動作が生じた場合は、以下の手順を行ってください

- 1 本体背面の防水カバーを開ける。**
- 2 先端の細いものを RESET ボタンの穴に挿し込み、RESET ボタンを押す。**

工場出荷状態に初期化する

本体の情報を消去します。

- 1 本体上面の◀ボタンを押す。**
- 2 本体背面の明るさ調節ボタンを長押しする。**

電源が OFF になります。電源ボタンを長押しして再度電源を ON にしてご使用ください。

※ 工場出荷状態に初期化すると、時刻、アラーム、FM ラジオ局の登録、Bluetooth 接続情報を含めて、本体の情報がすべて消去されます。

Bluetooth 機器について

機器認定について

本機は電波法に基づく小電力データ通信システムの設備として認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・ 本機を分解／改造すること

※ 充電電池を取り出すとき以外は、本機を分解しないでください。

周波数について

本機は 2.4GHz 帯の 2.402GHz から 2.480GHz まで使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、お客様相談室までお問い合わせください。お客様相談室については、本書裏表紙をご覧ください。

2.4FH1



この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。

Bluetooth 無線技術について

Bluetooth 無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ 10m 程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて 2 つの機器をつなげて使うのが一般的な使い方ですが、1 つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。

無線技術によって USB のように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

Bluetooth 標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中の様々なメーカーの製品で採用されています。

Bluetooth 機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記の Bluetooth バージョンとプロファイルに対応しています。

対応 Bluetooth バージョン：

- ・ Bluetooth 標準規格 Ver. 2.1 および Ver. 4.0

対応 Bluetooth プロファイル：

- ・ A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
高音質な音楽コンテンツを送受信する
- ・ AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)
音量の大小を操作する
- ・ TIP (Time Profile)
時刻の修正

通信有効範囲

見通し距離で約 10m 以内で使用してください。以下の状況においては、通信有効

範囲が短くなることがあります。

- ・ Bluetooth 接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- ・ 無線 LAN が構築されている場所
- ・ 電子レンジを使用中の周辺
- ・ その他の電磁波が発生している場所

他機器からの影響

Bluetooth 機器と無線 LAN (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線 LAN を搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- ・ 本機と Bluetooth 機器を接続するときは、無線 LAN から 10m 以上離れたところで行う。
- ・ 10m 以内で使用する場合は、無線 LAN の電源を切る。

他機器への影響

Bluetooth 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故が発生させる原因になりますので、次の場所では本機および Bluetooth 機器の電源を切ってください。

- ・ 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- ・ 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- ・ Bluetooth 機能を使うには、相手側 Bluetooth 機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth 機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- ・ Bluetooth 無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。
- ・ 本機は、Bluetooth 無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応しておりますが、設定

内容等によってセキュリティーが十分でない場合があります。Bluetooth 無線通信を行う際はご注意ください。

- ・ Bluetooth 技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本機と接続する Bluetooth 機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth 標準規格に適合していても、Bluetooth 機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- ・ 本機と接続する Bluetooth 機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

主な仕様

時計部	
時間精度	平均月差± 30 秒（気温 5℃～ 35℃で使用した場合）
使用温度範囲	0℃～ 40℃
カレンダー	2000 年 1 月 1 日～ 2099 年 12 月 31 日に対応
アラーム機能 （設定可能数）	本体 ：1 チャンネル アプリ：最大 7 チャンネル
スピーカー部	
使用スピーカー	フルレンジスピーカー直径 35mm × 1 パッシブラジエーター直径 40mm × 1
アンプ部	
実用最大出力	5W
チューナー部	
受信周波数	FM 76.0MHz ～ 95.0MHz
プリセット	5

Bluetooth 部	
使用周波数帯域	2.4GHz 帯 (2.402GHz ~ 2.480GHz)
通信方式	Bluetooth v2.1+EDR Bluetooth v4.0 (Time Profile)
対応プロファイル	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)
対応コーデック	SBC
電源部	
電源	DC5V (出力電流 500mA 以上の USB アダプター) 内蔵充電電池を使用
内蔵充電電池	リチウムイオン電池
連続使用時間 ^{※1}	音楽再生時：約 13 時間 ^{※2} クロックモード表示時：約 29 時間 ^{※3}
充電時間	約 4 時間 ^{※4}
消費電力	音楽再生時：約 0.9W ^{※2} 最大：約 9W

その他	
防水性能	IPX5
サイズ	高さ 150 × 幅 66 × 奥行き 60mm
重量	約 360g

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

- ※ 1 接続する Bluetooth 機器や再生する音源・音量、周囲の温度など使用状況により異なる場合があります。
- ※ 2 液晶明るさ「3」、本体の音量「10」、Bluetooth 機器の音量「100%」の場合
- ※ 3 液晶明るさ「3」の場合
- ※ 4 出力電流 1A の USB アダプターを使用したとき。ただし、製品周囲の温度や使用状態によって、上記の時間と異なる場合があります。

内蔵充電電池について

- ・内蔵充電電池は消耗品のため、正しく使用した場合でも、充電回数や時間の経過により、電池の性能が徐々に低下します。また、電池性能の低下は使用環境によって異なります。

保証とアフターサービス

- ・この時計はメーカー保証です。
保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- ・保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- ・保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ・この時計の修理用部品は、製造終了後3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どおりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- ・修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- ・有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- ・保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。販売店で保証が受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。

- ・ お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ・ ご不明な点は、お客様相談室にお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。この時計によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。

この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明な点がございましたら、製品の背面に表示されている製品番号（MODEL NO.）をご確認のうえ、下記お客様相談室にお問い合わせください。

（例：SS ○○○、AC ○○○、SQ ○○○など）

お客様相談室 0120-315-474

www.seiko-clock.co.jp

発売元

セイコークロック株式会社



TINSJA370AWZZ

FSS-002Q